

くすりのしおり

外用剤

2022年09月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：ネオメドロールEE軟膏〔眼科用剤〕

主成分：フラジオマイシン硫酸塩(Fradiomycin sulfate)
メチルプレドニゾロン(Methylprednisolone)

剤形：淡黄色半透明の軟膏剤、(チューブ) 白色、(キャップ) 白色

シート記載など：眼科・耳鼻科疾患治療剤、ネオメドロールEE軟膏、3g



この薬の作用と効果について

抗生物質と合成副腎皮質ホルモン剤の配合剤で、抗菌作用と抗炎症作用により、目およびその周囲の炎症症状（かゆみ、発赤など）を改善する眼科用の塗り薬です。

通常、目周辺部の細菌感染を伴う炎症性疾患の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。角膜上皮はく離または角膜潰瘍、眼に真菌・スピロヘータ・ウイルス・結核菌・原虫・寄生虫による疾患、糖尿病がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、適量を1日1～数回患部に点眼・塗布しますが、症状により適宜増減されます。必ず指示された使用方法に従ってください。
- ・塗るときは、チューブの先が直接目に触れないように注意してください。他に点眼剤も使う場合は、5分以上間隔をあけてから、この軟膏を最後に使用してください。
- ・結膜嚢内に塗るときは、下まぶたの内側に軟膏をつけます。まぶたを閉じ、軟膏が全体に広がってから目を開けます。あふれた軟膏は、すぐにふき取ってください。
- ・使い忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く使ってください。絶対に2回分を一度に使ってはいけません。
- ・誤って多く使った場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、使うのを止めないでください。

生活上の注意

- ・非可逆性の難聴があらわれることがありますので、この薬の使用中は特に聴力の変動に注意し、長期連用は避けてください。
- ・感作されたことを示す兆候（かゆみ、発赤など）があらわれた場合には使用を中止してください。
- ・眼内圧亢進、緑内障があらわれることがありますので、定期的に眼内圧検査が行われます。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、眼瞼炎、結膜炎、刺激感などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・激しい目の痛み、頭痛、吐き気 [眼内圧亢進、緑内障]
- ・目の痛み、目の充血、涙が出る [角膜ヘルペス、角膜真菌症、緑膿菌感染症]
- ・目の痛み、涙が出る、見えにくい [穿孔(角膜ヘルペス、角膜潰瘍または外傷などに使用した場合)]
- ・まぶしい、かすんで見える、視力低下 [後嚢白内障]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。